

第3回産学官連携サミット

パネルディスカッション「新技術で市場を拓く」

産学官連携に係る 人材育成の取組み

2003年11月17日

早稲田大学総長

白井克彦

産学官連携関連部局の拡充

- 1938年 鋳物研究所 設置（現 各務記念材料技術研究所：1988年改組）
- 1943年 理工学研究所 設置（現 理工学総合研究センター：1993年改組）
- 1956年 生産研究所 設置（現 アジア太平洋研究センター：1997年改組）
- ：
- 1998年 国際情報通信研究センター 設置
- 2000年 プロジェクト研究所・総合研究機構 設置
- 〃 知的財産センター（承認TLO）設置
（現 産学官研究推進センター：2002年改組）
- 2001年 研究開発センター（含・インキュベーション施設）整備
- 2002年 環境総合研究センター 設置
- 〃 研究推進部 設置
- 2003年 情報生産システム研究科 設置
- 〃 アジア太平洋研究科国際経営学専攻（MOT & MBA）開設
- 〃 知的財産本部 設置

現在、13の研究所・センターと約130のプロジェクト研究所が活動

人材育成のポイント

1 . 大学院教育の展開

MOT、MBAプログラムの結合
新しい戦略人材の育成
アジア太平洋地域との人的交流

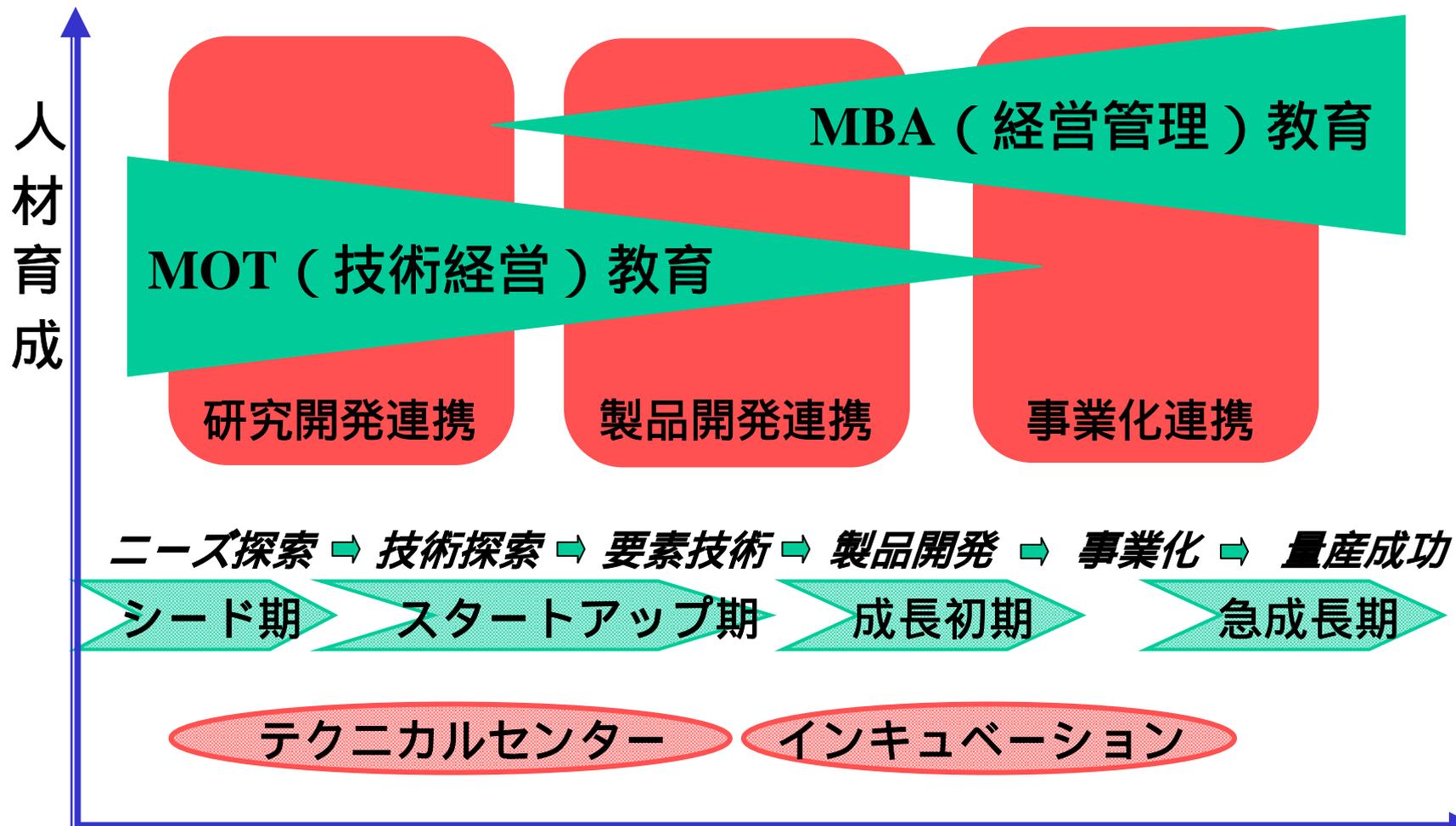
2 . 重点分野の推進

21世紀COEプログラム拠点との連携
ナノ理工学研究の推進

3 . 新技術・新産業の創出

ベンチャーの育成
地域・企業・非政府組織等との連携

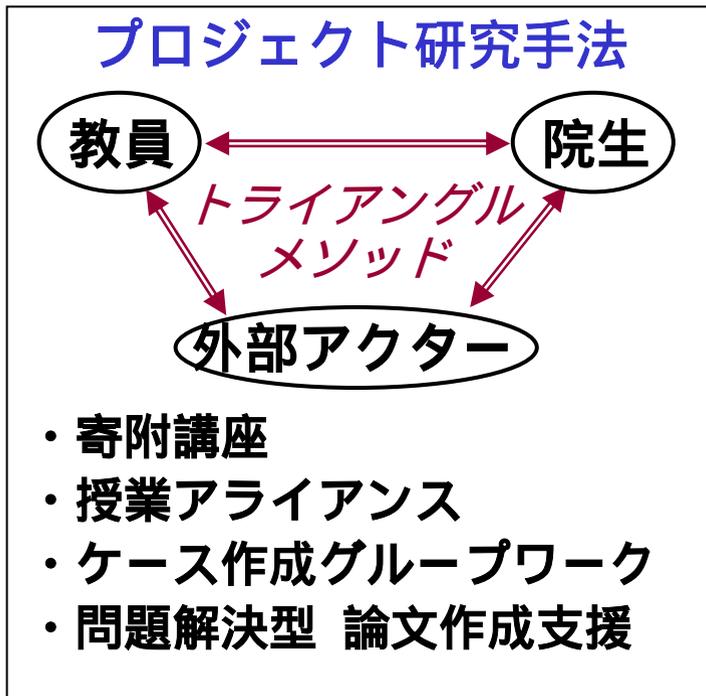
産学官連携のプロセスと人材育成



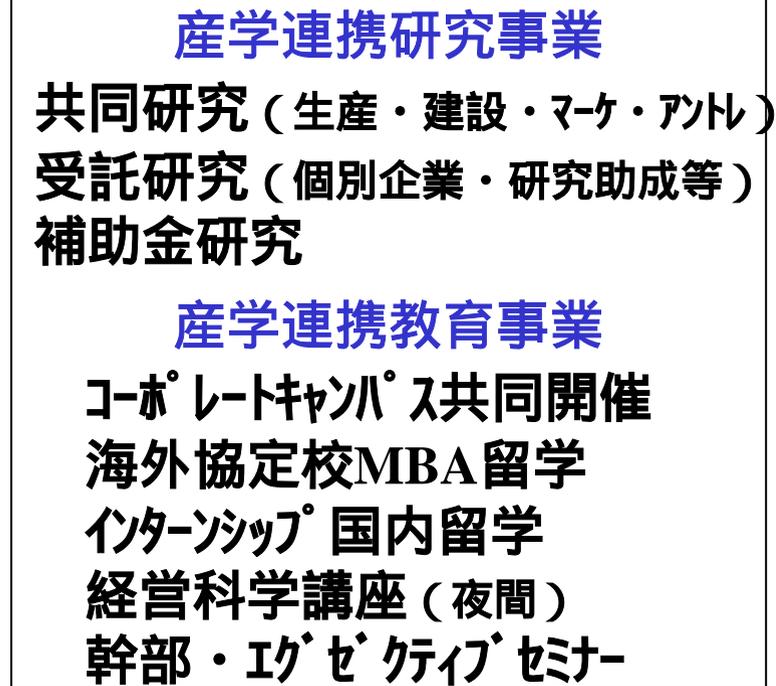
産学官連携 & 技術ベンチャー・事業化プロジェクトの成長

大学院アジア太平洋研究科と産学人材育成

経営専門職大学院（国際経営学専攻）



アジア太平洋研究センター



国際関係学専攻

21世紀COEプログラムとの連携
理工Ph.D.に対するMOT教育と
ダブル・ディグリーの可能性

産業人経営専門職大学院の構成

専修別	具体的テーマ	具体的な院生像
技術経営 (MOT)	テクノロジー・マネジメント オペレーショナル・マネジメント インフォメーション・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・CTO候補者 ・先端技術戦略・政策立案者 ・産学連携・技術移転推進者 ・生産イノベーション推進者 ・IT戦略立案・実行者
戦略経営 (SM)	ストラテジック・マネジメント ヒューマンリソース・マネジメント ファイナンス・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・経営企画・CEO候補者 ・人事・組織戦略立案者 ・グループ業績評価者 ・国際的金融市場推進者 ・情報戦略立案者
アントレ プレヌール シップ経営 (EM)	アントレプレナーシップ・ マネジメント マーケティング・マネジメント アカウンティング・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・独立・社内ベンチャー起業者 ・第二創業・中小企業経営者 ・マーケティング戦略推進者 ・管理会計戦略推進者 ・株式上場・IRを推進するCFO

情報生産システム研究科(北九州)の開設

~ アジア全体に視点を据えた技術と富の創造 ~

5つの戦略 = Five Strategic Human Resources

ボーダレス化された工業界で役立つ研究・技術によって
社会的・経済的な新しい価値を作り出す5つの戦略的人材を育成

世界的レベルの先端的
研究・開発を行う研究者

技術の社会的経済的インパクトが
わかる経営者および管理者

先端情報技術を活かした
アントレプレナー（起業家）

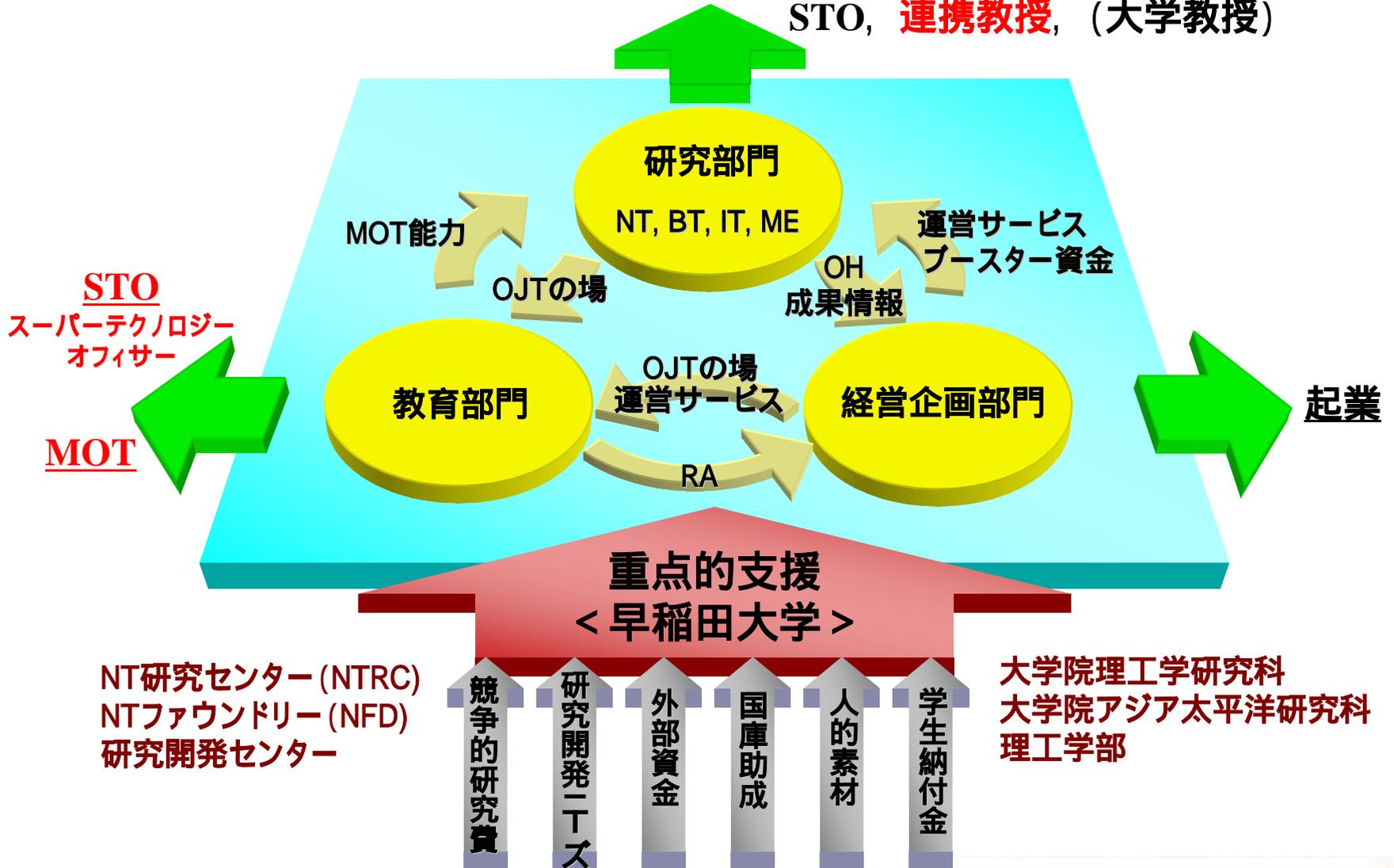
経営戦略・戦略構想の
立案ができるエンジニア

情報技術の知見を必要とするコン
サルティング業務などに従事する者

ナノ理工学研究推進構想

IP シーズ キャリアパス創出

STO, **連携教授**, (大学教授)



ナノ理工学における人材育成

1. 多様な教育スタイルの展開

共同研究での指導により、研究成果を教育に反映
社会人を対象とした大学院専門教育、セミナー等
オープンサイトを拠点として、企業等に人材提供
アジア太平洋研究科と協働したMOT教育

2. 新たなキャリアパスの創出

MOTの素養が前提

スーパーテクノロジーオフィサー (STO)

= 重点分野等の目利き、オープンラボで研究指導
連携教授 (Coordinate Professor)

= 大学・企業両方に在籍、人材育成と研究開発に
従事、ジョブショッップで研究開発指導

インキュベーションの推進

1 . 早稲田発ベンチャー企業の創設支援

早稲田大学インフラ提供
経営指導・コンサルティング
資金調達ならびに業務・技術提携支援
外部企業・ベンチャー企業との交流促進

2 . 早稲田発ベンチャーの現況（2003年10月末）

全 **51** 社（うち施設入居企業 = **21** 社）

特許技術移転型 = **18** 社

特許以外の技術移転型 = **12** 社

人材移転型 = **17** 社

出資型 = **4** 社

学生起業家オフィス (24時間オープン)



施設利用料 (全4タイプ) 各種インフラ利用料含

- 開放型 : 2万円 / 月 (12.3㎡)
- 個室型 : 11万円 / 月 (37.6㎡)
- 個室A : 6万円 / 月 (15.2㎡)
- 個室B : 4万円 / 月 (8.9㎡)

東京都墨田区との連携

1 . 包括協定の締結

地域貢献の新たなスタイルを創出
新事業展開プロジェクト（TLO交流サロン等）
産学官拠点施設の整備（旧小学校舎の活用等）

2 . 実学の場の展開

大学院（公共経営研究科）への自治体職員入学
インターンシップの受入れ（墨田区役所）
ゼミ等のフィールドワーク

3 . 子供への起業家育成プログラム

Do School in SUMIDA：神泉村児童との起業交流
ファッション V-Kids：繊維ビジネスの体験

産学官の〈知の共創〉を！

「進取の精神・久遠の理想」を掲げる早稲田大学がイノベーション・エンジンとなって、あらゆる英知の活用と人材の輩出により、日本経済に創造性・革新性をもたらす